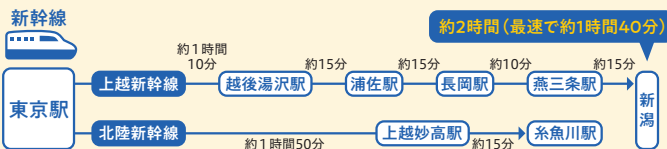


NIIGATA

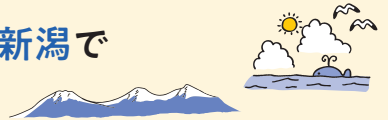
暮らしを変える。

～リモートワークを新潟で～

ポイント1 首都圏からアクセス抜群



ポイント2 自然豊かな新潟で余暇も満喫



ポイント3 好きな仕事と子育てを両立できる



新潟でリモートワークをしている3人に聞きました!

「新潟のつかいかた」

インタビュー
全文は
こちらから >>>



interview

01

竹内義晴さん

所属:サイボウズ株式会社(グループウェアやチームワーク強化メソッドの開発・販売・運用)
リモートでの仕事:ブランディング、マーケティング、執筆作業



▶ 新潟 × リモートワークって、どんな仕事をしているの?

私は(サイボウズ)で、マーケティングやブランディング、オウンドメディア『サイボウズ式』の記事企画や執筆などを担当しています。もともと運営していたNPO法人に加え、2020年6月からは(妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会)にも参画しました。現在は、月曜日から水曜日はNPOと妙高市の仕事、木、金曜日は、サイボウズの仕事をしています。

interview

02

須貝美智子さん

所属:株式会社グッドパッチ(新規事業の立ち上げやプロダクトのUI/UX改善など)
リモートでの仕事:プロジェクトマネジメント、テクニカルディレクション、イベント企画・運営など



▶ 最先端で働きながら、暮らしの豊かさも手に入れる!

新潟はどこに行ってもごはんや野菜がおいしいですね。採れたて野菜ってこんなにおいしいんだ!と感動しましたし、ちゃんとごはんを食べられるようになりました。それに、自然に触れられる時間が増えました。新潟の自然に触れて、心の余裕が生まれた気がします。それもこれも、新潟で暮らせているからこそ。暮らしが豊かになったうえで、リモートで最先端の仕事に携われるのは、本当にうれしいですね。

interview

03

佐藤信也さん

所属:大和ライフネスト株式会社(マンションやビルの建物管理など)
リモートでの仕事:マンション修繕の計画書作成、管理組合運営補助業務など



▶ 新潟 × リモートワークで豊かな暮らしを実現!

子育て環境が整った地域で今までの仕事を継続できていることが一番ありがたいですね。東京にいるときは、保育園を決めることすら難しかったので。家から近い保育園に入園できたこと、車を少し走らせれば自然に触れられること、親の助けを借りられること。挙げればキリがないです(笑)。

最大50万円

新潟で新しい働き方を
実現するあなたを
応援します！



対象者

令和2年6月19日以降に東京圏(東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県)から新潟県内に移住し、移住前の仕事を継続しているテレワーカー(企業等の従業員)またはフリーランス等(個人事業主等)の方

移住応援金の額

2人以上世帯の場合 50万円
単身世帯の場合 30万円

申請期限

令和3年3月15日(必着)
※期限内であっても予算上限に到達した場合は交付決定できません。

申請先

新潟県産業労働部しごと定住促進課

対象者の要件、
申請方法など詳しくはこちらから



新潟県内のコワーキングスペース

★印の市町村に施設があります。

1 MOYORe:(モヨリ)

2 Sea Point NIIGATA

3 NaDeC BASE (ナデックベース)

4 ウェルビーイング 妙高高原駅内

5 きら星BASE

その他の施設情報は
こちら



お問い合わせ



新潟県産業労働部 しごと定住促進課 U・Iターン就業促進班
〒950-8570 新潟市中央区新光町4番地1
TEL 025-280-5635
メール ngt050050@pref.niigata.lg.jp

にいがたU・Iターンの
情報はこちら

にいがた暮らし

検索

